



星の王子さま

フランスの作家、アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリが1943年に発表した児童小説。

操縦士の「ぼく」は、飛行機の故障で不時着した砂漠で、幼い王子に出会います。

王子は自分の星にバラの花を一輪残し、いくつもの星を巡って地球にやって来ました。

操縦士、きつね、へびたちと友だちになった王子は、きつねを通じ、

「なつく」ことの本当の意味を悟ります。



12 Rapunzel



ラプンツェル

ドイツの作家、グリム兄弟が1812年に発表した童話。

塔のてっぺんに閉じ込められ、魔女に育てられたラプンツェルは、ある国の王子と恋に落ちました。

王子はラプンツェルの長い髪の毛をつたって彼女に会いに行きますが、

それを知った魔女がラプンツェルを追放し、王子は目が見えなくなります。

けれどもふたりは再び出会い、ラプンツェルが流した涙で王子は視力を取り戻すことができました。



25 Sneedronningen



雪の女王

デンマークの作家、ハンス・クリスチャン・アンデルセンが1844年に発表した童話。

ある日、少年カイの心臓と目に悪魔の鏡の作った破片が刺さります。

そのせいでカイの性格が一変し、幼なじみの少女ゲルダと仲が悪くなってしまいます。

雪の女王にさらわれたカイを追って、やっとの思いで雪の女王が住むお城に到着したゲルダ。

カイを見たゲルダは熱い涙を流し、その涙がカイに刺さった鏡の破片をとかしていきました。



登場する世界の童話



オズの魔法使い



ロミオとジュリエット



白雪姫



ヘンゼルとグレーテル



美女と野獣



フランダースの犬



あしながおじさん



幸福な王子



三匹のこぶた



星の王子さま



マッチ売りの少女



秘密の花園



王子とこじき



ブレーメンの音楽隊



ピーター・パン



長くつ下のピッピ



赤ずきん



くるみ割り人形



ピノキオ



ラプンツェル



おやゆび姫



雪の女王



みにくいアヒルの子



蝮の兵隊



赤毛のアン



人魚姫



アラジンと魔法のランプ



三匹のくま



シンデレラ



不思議の国のアリス